

## 英国 EPSRC ピア・マイル制度について

EPSRC のピア・マイル制度について、EPSRC 担当者より聴取した情報及び EPSRC のサイト上等の情報を加えた概要以下のとおり。

- 審査の威信 (Prestige) 向上と(書面)審査員からの回答率の改善を目指して、2001 年に導入。Reviewers' Incentive Scheme 乃至は Peer Miles と呼ばれている。
- 依頼した書面審査について、期限内に回答があった場合 2 ポイント、期限後の場合 1 ポイントが、各審査員の所属機関の部門(大学の学部等)へ加算される(審査員個人へ直接は配分されない)。(審査内容が不十分、又は回答が遅すぎた場合ポイントは加算されない)
- 予算総額 75 万ポンド(約 1.5 億円)、1 ポイントあたり 35 ポンド(約 7,350 円)、2 ポイントあたり 70 ポンド(約 14,700 円)を配分(2006 年度)。
  - ※年により、予算総額及び配分マイルが異なるため、1 ポイントあたりの金額は多少異なる。
  - ※審査パネルの場合には、出席した審査員に対し日額 170 ポンド(約 3.6 万円)支給。(書面審査におけるピア・マイル制度とは異なる。)
- 貯まったマイル数に応じて、審査員の所属機関の部門へ、追加的な研究費 (Additional research funds) として配分される。(審査員本人ではなく)所属機関へ配分することの利点は、①非課税にできること、②事務手続き及び監査が簡素化されることにある。
- 配分資金の用途：
  - 会議等の開催経費・参加費、印刷代、スタッフ・学生の能力開発費、旅費、講演者の招へい費、研究器具・装置の購入費 等
- ピア・マイル制度については、所属機関の部門長(学部長等)の 95%と審査員の 90%から好意的な回答(2003 年度の EPSRC 調査結果)
- 期限内に回答があった審査の割合は、本制度導入以来順調に増加(良好)。
  - 6 年間で約 15 ポイント増加 (2001 年度: 約 37% → 2007 年度: 約 52%)
- 回答がなかった審査の割合は、本制度導入以来順調に減少(良好)。
  - 6 年間で約 7 ポイント減少 (2001 年度: 約 18% → 2007 年度: 約 11%)

(参考)

○審査員からの回答実績(書面審査)

回答種別		人数	全体に占める割合	平均日数
正常な回答		4311	71 %	22
回答なし		646	11 %	39
回答が遅すぎた		22	0 %	73
対応不可	忙しすぎる	135	2 %	15
	利害衝突	164	3 %	12
	分野が合わない	386	6 %	12
	その他の理由	411	7 %	15
回答が不十分		15	0 %	23
合計／平均		合計 6090	合計 100 %	平均 23

回答なしを減少  
させたい。

回答の遅延を縮  
小したい。

※2007年1月1日～6月30日の間に、EPSRCピア・レビュー・カレッジの審査員へ依頼した書面審査の回答状況

(了)